

国都下管第 14 号
平成 17 年 3 月 31 日

各都道府県下水道担当部長
各政令指定都市下水道担当局長 殿

国土交通省都市・地域整備局下水道部
下水道企画課下水道管理指導室長

下水処理場及び管路施設の維持管理における安全管理の徹底について

去る 3 月 26 日午後 11 時 50 分頃、東京都大田区の下水道管渠内で爆発が起こり、近辺の道路側溝から炎が上がるとともに、マンホール及び側溝のふたが浮上・ずれが生じ、また、その一部が飛散するという事故が発生したところである。

今回発生した事故では、幸いにして人的な被害はなかったところであるが、事故の発生場所、時間帯、交通状況等によっては、重大な被害を引き起こすおそれがあったものと想定される。

今回発生した事故の原因等の詳細については、現在、消防等の関係機関において調査中であるが、下水道管渠内で気化した可燃性の気体に引火して爆発した可能性もあることから、各下水道管理者においては、有害物質・油等を排出する事業場への指導監督を徹底するとともに、下水道管渠及びマンホール・ますのふた等の調査、点検及び保守等を適切かつ計画的に行うことにより、下水処理場及び管路施設の維持管理における更なる安全管理の徹底に努められたい。

また、最近においては、維持管理に係る事故の報告が適切になされていない事例も見受けられることから、貴職における事故発生時の連絡体制等について確認を行うとともに、万一、事故が発生した場合においては、被害の大小にかかわらず、直ちに下水道部下水道事業課基準係、各地方整備局等へ第一報を連絡するとともに、すみやかに報告を行うよう徹底されたい。

なお、各都道府県においては、この旨貴管下市町村（政令指定都市を除く）にも周知されたい。

路上で爆発

大田、側溝から炎

二十六日午後十一時五十分ごろ、東京都大田区

大森南の路上で、「爆発音がして側溝から炎が上がった」と一一九番通報があった。

東京消防庁と大森署で

調べたところ、道路の脇にある側溝のコンクリート製ふた(重さ約十キロ)三十一個と、マンホール

の鉄製ふた(約五十キロ)二個が浮き上がってずれ

ていた。近くの住民が「ドーン」という爆発音とともに、側溝から約三桁の高さまで炎が上がっているのを目撃。炎はその後、一桁ほどの高さになり、数分間にわたって上がり

続いていたという。マンシヨンの掲示板の一部も焼けたが、住民が消火器

で消し止めた。住民らにけが人はなかった。可燃性の気体が下水道に充満、何らかの原因で引火した可能性が高いとみて、東京消防庁と大森署で詳しく調べている。